

## 『第4回 うつくしま眼科研究会』のご案内

謹啓 時下先生におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。  
また平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、下記の要領にて「第4回うつくしま眼科研究会」を開催させて頂く運びとなりました。つきましては、ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご臨席賜りますよう、ご案内申し上げます。

日時：2019年7月27日（土）18:00～20:00

会場：ホテル ハマツ （2F 開成の間）

福島県郡山市虎丸町3番18号

TEL:024-935-1111

会費：1,000円

座長 福島県立医科大学医学部眼科学講座 教授 石龍 鉄樹 先生

### 【特別講演Ⅰ】

『神経眼科に関するCTやMRIでの画像診断』

演者：中村記念病院 眼科

部長 橋本 雅人 先生

### 【特別講演Ⅱ】

『緑内障の全身リスク因子』

演者：島根大学 医学部 眼科学講座

教授 谷戸 正樹 先生

※本講演会は、専門医制度認定事業2単位を申請中です。

※講演会終了後、情報交換会を開催いたします。

共催：うつくしま眼科研究会

千寿製薬株式会社

後援：福島県眼科医会

## 『第4回 うつくしま眼科研究会』

### 『神経眼科に関するCTやMRIでの画像診断』

中村記念病院 眼科 部長 橋本 雅人

- ▶ 眼科、特に神経眼科領域における画像検査で最も重要なことは、臨床所見から病巣を推定して撮影することです。神経眼科疾患の多くは責任病巣が非常に小さいために、脳ドックのようなスクリーニング的画像検査では見落とすことが多いからです。実際、筆者らの神経眼科外来において「脳外科でMRIを撮ったが異常はないと言われた」という他院からの紹介例で、当院でMRIを取り直すと異常所見が見つかるケースをよくみます。ほとんどの施設では実際にMRI装置を作動するのは我々眼科医ではなく放射線技師であり、読影は放射線科医が行います。我々眼科医の役目は、彼らに眼科的見地から想定される責任病巣や臨床像を的確に情報提供することであり、このことが結果としてより精度の高い画像診断につながっていくと考えます。そのため、我々眼科医も、眼科領域に関する頭部、眼窩部の画像診断に対する最新の知識を身に付けておく必要があります。
- ▶ 今回の講演では「神経眼科に関するCTやMRIの画像診断について」と題し、前半は眼科医にとって必要なCT, MRIの基礎知識について解説し、後半は実際の症例を提示しながら頭部、眼窩部の画像検査のオーダーとその読影について、最近のトピックスも含めて解説していく予定です。

### 『緑内障の全身リスク因子』

島根大学 医学部 眼科学講座 谷戸 正樹

- ▶ 種々の疫学調査では、加齢と共に緑内障有病率が顕著に増加すること、血圧や血糖などの全身因子が眼圧と有意な相関を示すことが報告されています。これらの事実は、眼局所要因だけでなく、ある種の全身因子が緑内障の病態に関わる可能性を示唆します。酸化ストレスは、加齢における中心的なメカニズムと考えられていますが、緑内障患者においても全身的に酸化ストレスが亢進していることが、複数の研究により示されてきました。本講演では、緑内障あるいは眼圧との関連が推測される全身因子について、文献的考察と自験例を交えながらご紹介したいと思います。演者の個人的な仮説(妄想?)を多分に含みますが、おつきあい頂ければ幸いです。